

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		小島アートプラザ				所管	文化産業観光部 産業振興課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名			
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度	
		[小 柱]					[事業開始] 平成 1 6 年度	
		[施 策]					[終了予定] 平成 2 6 年度	
	根拠法令等	その他		[法令等名]	早稲田大学総合研究機構と台東区との協力連携に関する覚書			
	事業対象	区内中小企業						
	事業目的	小島アートプラザに入居している大学等との交流・連携を促進し、地域産業の振興に資する。						
	事業内容	小島アートプラザに入居する早稲田大学の研究所に委託し、地域産業のデザイン支援や地域産業の活性化に資する事業を実施する。平成20年度からは、台東区のものづくりシリーズと題し、本区の重要な地場産業であるファッション雑貨産業の製造過程における高度な技術を映像に収め、アーカイブ化している。						
委託の有無	全部委託		委託内容	台東区地場産業デザイン調査の業務委託				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	デザイン調査委託の実施回数 回			1	1	1	
	成果指標	デザイン調査委託の実施業界数 業界			1	1	1	
	決算額 (単位：千円)				1,575	1,575	1,418	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			1,800	1,250	1,704	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			1,575	1,575	1,418	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			3,375	2,825	3,122	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
	一般財源 (区負担額)			3,375	2,825	3,122		
前年度から改善した事項		記録された映像DVDは、区立図書館で貸出しができるようにした。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	2	地場産業の振興に資する様々な産学連携事業を実施してきたが、その事業目的を一定程度達成している。					
	効率性	2	記録された映像は技術の継承や地場産業団体の催しでのPR活動等に用いられているが、より有効な活用方法を検討する必要がある。					
	手段の適切性	2	小島アートプラザに入居し映像やデザインを研究している早稲田大学メディアデザイン研究所に事業を委託しているが、民間でも実施は可能である。					
	目的達成度	4	本区の重要な地場産業である皮革関連産業において、中間加工業である革漉き事業者と連携し、革を薄く漉く高度な技法を映像で記録した。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
小島アートプラザの開設以来、早稲田大学の専門的な知識・技術を活用し、デザイン講座やアーカイブ事業など地場産業の振興に資する様々な産学連携事業を実施してきたが、その事業目的を一定程度達成したため、平成26年度をもって終了とする。						廃止・終了		